



キャンパスを
歩く人々を
Snap Snap!
スナップ スナップ
《新年の抱負編》

本誌に対するご意見や、誌面を盛り上げるアイデアを募集中です!
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp まで。
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>



HU-style

広大生のための広報誌

2011
Jan. vol. 24
広島大学

あの人に会いたい
プロ野球選手 **前田健太**
特集
広大ブランドって何?

遠慮はせずに、一番を目指す。

あの人に会いたい
Interview with Maeda Kenta

前田健太

プロ野球選手

PROFILE

生年月日:1988年4月11日、身長・体重:182cm・73kg、タイプ:右投右打
大阪府出身。高校生ドラフト会議で単独1位指名を受け、2007年に広島東洋
カープへ入団。2010年は、開幕戦から勝ち星を重ね、最多勝(15勝8敗)、最
優秀防御率(2.21)、最多奪三振(174)を記録し、球団史上初の投手三冠王
となる。併せて最優秀投手賞、ゴールデン・クラブ賞、ベストサイン、ベストパ
テリ―賞も受賞。両リーグ最多得票でオールスターゲームにも出場している。

広島東洋カープ公式サイト <http://www.carp.co.jp/>
前田健太ブログ <http://ameblo.jp/maeken-18/>

職業としてのプロ野球

僕にとって、野球は人生。これまです
べての時間を野球に使ってきました。全
国に友達ができたのも、年の離れた指
導者の方たちとかかわれたのも、野球の
おかげです。今もプロとして野球をして
いるので、やっぱり野球は僕の人生そ
のものだと思います。



プロ野球は、一見華やかな世界です
が、実際は楽ではありません。2〜3年
結果が出ないとすぐに解雇になる一方
で、活躍すればするほど給料が上がる
ので、天と地の差が激しい世界です。好
きなことを仕事にしているので、やりがい
はありますが、安定した職業ではないの
で必死です。生活が懸かっているので、
仲良くしよしの世界ではないです。

遠慮はしたくない

高校まではチームメイトとの年の差は
最大2歳。プロ入り直後は、チーム内に
何十歳も離れた選手やコーチがいて、
内心「おっちゃんやなあ」と思う人と一緒
に練習し、競い合うことに戸惑いがあり
ました。でも今は、若い選手が遠慮して
練習できないようでは駄目だと思うので、
とにかく一生懸命野球に打ち込もうと
思っています。練習では先輩たちと仲良
くしようとは思っていません。年上でもラ
イバルなので、遠慮はしたくないです。

一番でありたい

子どもたちに夢を与えることも僕たち
の役割だと考えています。「マエケンみ

たいになりたい」と言われたいし、僕の
ピッチングを見てピッチャーを目指す子
どもたちが増えるといいと思います。子
どもたちがあこがれるのは、絶対に、す
ごい選手。僕が子どものころも、エースや
4番の選手に引かれました。たくさん活
躍すれば自分を目指してくれる子どもが
増えると思うので、一番のピッチャーであ
りたいと思います。

積極的に ファンサービス

ファンがあつての僕たち
なので、応援してくれる皆さ
んには喜んでもらいたいですね。ファン
サービスの一環として、昨年からブログ
を始めました。僕の普段の生活をつづ
ています。コメント欄を通してファンの声
を聞けるので、ブログをやって良かったな
と思います。

僕自身、野球は見るよりもや
る方が好きだったので、選手に
サインをもらいに行くことはあり
ませんでした。でもプロになった
今、サインや記念写真を通じて
ファンの方の笑顔を見ると、こ
ちらもうれしくなります。球場で
呼び掛けられた時も、なるべく応えるよう
にしています。

プレッシャーはエネルギー

昨シーズンまでは、先発して7回3失
点でも「試合を作って役割を果たした」
と言われていました。だけど今シーズンは、
同じ7回3失点でも負けると「マエ
ケンどうした」とか「マエケン打たれた」と
報道されるように。だんだんとハードルが
高くなって「絶対に勝たなければ」という
プレッシャーが強くなりました。

でも僕は自分自身を、プレッシャーが

エネルギーになるタイプだと思っていま
す。「周りが期待するなら応えてやろう。
それも、ぎりぎりではなく簡単に乗り越え
てやろう」と。「自分はある」と思って試
合に臨んでいたのですが、プレッシャーはそ
んなに感じませんでした。勝ち星を重ね
ることができたのは、いい経験になった
と思います。

今後の目標

遠慮しない前田健太を見てください。
プロ野球界では、僕は年下の方で、雑
用もしなければならない若手です。でも
試合では遠慮しない。先発ピッチャーの
中でも若手だけど、遠慮はせずに「自分
が投手陣を引っ張っていくんだ」という
つもりでやっていきます。

僕の目標は、とにかく一番すごいピッ
チャーになること。WBCでもたくさん投
げたいし、日本一のピッチャーにもなりた



い。周りを見渡せば、すごい投手はたく
さんいます。その中でも一番になることを
目指していきます。

広大生の皆さんも、自分の目標に向
かって、遠慮せずにががつががんばって
ください。



取材を終えて

物心ついた時からカープファンですが、選手と
話したのは今回が初めて。期待を一身に背負
うマエケンから、試合に臨む時の気持ちやプ
ロ野球とはどんな世界かを教えてもらった、
夢のような時間でした。厳しい世界を自分の
輝く場にする実力と気迫を持った前田投手の
活躍は、同い年の私にとって特別な励みと
なっています。

取材/記事/総合科学部4年 桑田 雅美

「一番のピッチャーになりたい!!!」持ち前の明
るさはもちろん、プレッシャーも味方にする
強気な性格、誰よりも野球に時間を使ってきたと
胸を張れる努力も前田選手の魅力だと思
いました。短い時間でしたが、あこがれの
マエケンに会えて、幸せなひとときでした。こ
れからも、遠慮しない、強気のピッチングの
前田選手を応援し続けます!

取材/総合科学部4年 中田 有紀

今、最も注目されている前田投手に会える
と、前日から非常に緊張していましたが、TV
で拝見していたヒーローインタビューの印象
と同じで、とても気さくに話しやすい方でし
た。多忙なスケジュールの合間をぬって時間
をくださり、本当にありがとうございました。
来シーズンのご活躍も期待しています。強い
カープを見せてください!

取材/経済学部1年 神岡 遼



広島brand

ブランド

特集/
 広島ブランド
 って何？

広島大学は、教育・研究だけでなく、産学連携も盛んです。産業界と連携してさまざまな商品が誕生しています。広島ブランドと呼ばれるこれらの商品が、どうやって誕生し、身近にどんなものがあるのか調査しました。



産学連携で社会のニーズに応えていく

平成16年の国立大学法人化以来、大学の主な役目の一つとして、社会貢献が強く求められるようになりました。大学の運営費には税金が使われているのだから、その研究は社会に還元されるべきという考え方です。大学の研究成果を社会のニーズと結び付け、商品化を実現したり、企業の問題解決に共同で当たったりして、社会の利益に還元していくことが、産学連携の基本スタンスです。

広島大学は、国内だけでなく、海外でも技術

説明会を行っています。また海外にコーディネーターを置いて、国際的な産学連携を進めています。これは中四国では広島大学だけしかやっていない、先進的な取り組みです。また最近、技術移転に不可欠な特許の取得も活発で、2009年度の大学等における特許出願件数で、広島大学は10位にランキングされました。パテント・リザルト社が行った特許資産規模ランキングでは、大学・研究機関で7位、大学・TLO（技術移転機関）だけに限ると2位です！

産学連携は、楽なプロジェクトではありません。まず大学研究者の思いと、営利を求める企業との意見の一致には苦労します。さらに海外のプロジェクトでは、企業と契約締結するだけでも1年くらいの時間がかかり、事務的な負担も大きいですが、ただ、連携協力した企業が

らの評判は、国内外ともに良いです。保健学研究科の浦辺幸夫先生が携わった高齢者の転倒を予防する「転倒予防くつ下」がヒットして、先日メーカーの社長さんから「転倒予防くつ下のおかげで、会社が倒産しなくて済んだ。『倒産防止くつ下』になったよ」と冗談を言われました。大学の技術を必要としている企業はたくさんあります。

産学・地域連携センターでは、本年度から産学連携の意識を高めるため、パテントデーを始めました。特許で広大に貢献した発明者の表彰や、特許に関する講演会を行います。興味のある学生はぜひ来てください。特許や知的財産の考え方を少しでも分かってもらえたら、後は自分で勉強することもできるし、社会に出た時にきっと役に立ちますよ。

澤産学・地域連携センター長から、学生へメッセージ

社会に出たら、自分が何を求められているかを考え、自分の立ち位置や生き方に信念を持ってがんばってください。



新たな需要を生み出し、地域産業の活性化に

私が産学連携に深くかかわるようになったのは、平成15～18年度の文部科学省の知的クラスター創成事業がきっかけです。酒粕の有効利用について研究しているとき、牛乳に酒粕を添加すると、植物乳酸菌が爆発的に増えることを発見しました。植物乳酸菌は腸まで生

きて届き、腸管免疫を活性化してくれるので、アレルギーの改善効果や整腸作用に優れています。従来、ヨーグルトに使用されるのは、動物由来の乳酸菌だけでした。植物乳酸菌でヨーグルトを作れないかと思い、野村乳業株式会社や高原安瀬平乳業有限会社と連携し、植物乳酸菌ヨーグルトの開発に至りました。最近では、中国醸造株式会社と連携して、酒粕と植物乳酸菌を利用した洗顔フォームも開発しています。酒粕にはメラニン色素を抑える効果や皮膚炎を改善する効果があります。ほかにも、私の研究を基に製品化された商品はいろいろ

あり、広島大学の登録商標「ビオ・ユニブ」のブランドロゴを貼付しています。

産学連携のメリットはさまざまで、開発した技術を論文にすることで、学問研究に生かされるのはもちろん、大学の特許技術を商品化するので、ライセンス料が大学に入るようになります。この収入は大学の教育研究に役立てることができます。また商品化が軌道に乗って産業発展すれば、新たな需要を生み出し、地域産業の活性化にもつながります。大学の研究が社会の役に立ち、それが大学に還元され、良いサイクルができればと思います。

杉山先生から学生へメッセージ

学生には、もっと自由な発想をして、いろいろな方向からものごとを見ていけるようになってほしいですね。周りに何かあったときに放っておかず、何とかしようと考える人になってください。



GABA食パン

パンや洋菓子などの焼き上げる技術を基本に、健康に貢献するという「ベーキングヘルシー」を追求してきた株式会社ピーターパンと、乳酸菌技術を持った杉山教授とのコラボレーションで生まれた商品です。植物乳酸菌由来のアミノ酸であるGABAが、1本当たり60mg以上含まれています。GABAは血圧降下や精神安定などの作用で注目を集めています。

価格：399円（税込） 発売開始：2006年
 開発：株式会社ピーターパン
 広大研究者：杉山政則（医歯薬学総合研究科教授）



はっさくマーマレード

かんきつ類の中でも、取り分け栄養たっぷりのハッサクを使った商品です。尾道産のハッサクを、皮から果肉まで丸ごと煮込んだマーマレードは、苦味を抑えつつも、香りをしっかりと残したさわやかな風味です。

価格：472円（税込） 発売開始：2009年11月
 開発：アヲハタ株式会社、レインボー食品株式会社
 広大研究者：平田敏文（理学研究科教授〔現・名誉教授〕）、矢中規之（生物園学研究科准教授）、神田博史（医歯薬学総合研究科准教授〔現・安田女子大学〕）



マルチビタミンB12 かいわれ

一般に動物性食品にしか含まれない「ビタミンB12」を、国内で初めて野菜に摂り込むことに成功。ビタミンB12は欠乏すると悪性貧血や動脈硬化、神経障害などの原因になるため、健康維持のためには必要不可欠です。野菜中心の食生活を送る人でも、その大切な栄養素を摂取できるようにという願いから開発されました。

価格：100～150円程度
 発売開始：2004年6月
 開発：株式会社村上農園
 広大研究者：佐藤一精（教育学研究科教授〔現・名誉教授〕）



カルシウム黒豆（カカオ味・抹茶味）

天然カキ殻エキスと国産の黒大豆から作られており、骨の形成に重要なカルシウムと大豆イソフラボンを手軽においしく補給できる栄養機能食品です。また、カルシウムを効率的に吸収するために理想的な、カルシウム：マグネシウム＝2：1という配分で作られているところは開発者たちのこだわりです。その栄養性と味が評価されて、2010年モンドセレクションで金賞を受賞しました。

価格：500円（税込/約5日分）
 発売開始：2008年7月 開発：株式会社イシカワ
 広大研究者：丹根一夫（医歯薬学総合研究科教授）、大谷淳二（医歯薬学総合研究科助教）

腹持ちがよさそう。ワインに合いそう。カルシウムも取れるんだ♪

お腹が空いた時に最適、食べやすい。



総合科学部4年
 小田良介さん



総合科学部4年
 上山絵美さん



写真は広島県産

ギャバを含むお漬物 「醗酵蔵」

瀬戸内産みかん果汁を乳酸発酵させて、GABAを生成する際の発酵果汁に漬けて作られています。100g当たり100mg以上のGABAを含んでおり、柔らかくみずみずしいのが特徴です。ナス、白菜、広島菜、キュウリ、たくあん、キムチと種類も豊富で、さまざまな風味を味わえます。

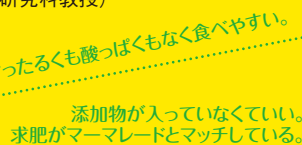
価格：420円（税込） 発売開始：2006年
 開発：株式会社猫島商店
 広大研究者：杉山政則（医歯薬学総合研究科教授）



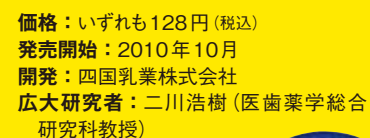


ハッサクジャムのさわやかさを求肥（ぎゅうひ）で包みこみ、しっとりした卵せんべいではさんだオリジナルティーあふれる和菓子です。ハッサクのほろ苦さと酸味がうまく溶け込み、独特の柔らかい食感が後を引く、絶妙の一品です。新たな広島土産の定番になるのではないだろうか。

発売開始：2009年11月 開発：株式会社にしき堂
 広大研究者：平田敏文（理学研究科教授〔現・名誉教授〕）、矢中規之（生物圏科学研究科准教授）、神田博史（医歯薬学総合研究科准教授〔現・安田女子大学〕）、江崎哲（教育学研究科教授）



二川教授が発見した乳酸菌「L8020 菌」を用いて、歯の健康を守るヨーグルトとして発売されました。虫歯と歯周病の両方から守るヨーグルトの開発は日本初！ヨーグルトは乳酸菌によって異なる味になるため、「毎日食べられる味」を目指して試作を繰り返しできた製品です。パッケージデザインには、広大な生のアジアが詰まっています。



植物乳酸菌は、動物の乳酸菌に比べて、体内の栄養バランスが悪い所でも元気に生育し、生きて腸まで届きます。今まで技術的に困難だった、植物乳酸菌のみでのヨーグルト発酵による商品化に成功しました。一度に植物乳酸菌を多量摂取できる、画期的なヨーグルトです。



∴ ん〜。おいしい♡

夜勉強している時に飲みたい。研究室でパソコンしながら飲みたい。分析がうまくいかなくてイライラしてる時に、気分を落ち着かせてくれそう。はちみつレモンに似ている。



ハッサクの風味をそのまま残した粉末飲料で、ホットでもクールでもおいしく飲めます。

発売開始：2010年2月
開発：今岡製菓株式会社
広大研究者：平田敏文(理学研究科教授
〔現・名誉教授〕)、矢中規之(生物園
科学研究科准教授)、神田博史(医
歯薬学総合研究科准教授〔現・
安田女子大学〕)



固形（ハード）ヨーグルトには龍眼（ロンガン）という果物から単離した乳酸菌LP28株を、ドリンクヨーグルトには植物乳酸菌ラクトバチルス・プランタム SN13Tをそれぞれ使用しています。いずれも杉山教授による「パイナップル果汁が乳酸菌を爆発的に増やす」という発見に基づいたヨーグルト製造技術（特許申請中）を使っています。沖縄産パイナップル果汁のさわやかな風味が特徴です。凝固剤などの添加物は使っていません。

開発：高原安瀬平乳業有限会社
 広大研究者：杉山政則（医歯薬学総合研究科教授）



石川 茉莉花さん(生物圏科学研究科M1)



実験では、自分が思うデータはなかなか出ません。続けるには根性が必要です。投げやりな気持ちになることもありましたが、めげずに辛抱強くトライして得た成功は、何よりも価値あるものだと思います。私が担当した実験のほかにも、味の調節やパッケージデザインなど、多くの方が携わり、商品化が実現しました。専門家一人一人の地道な努力を積み重ねて、一つのものを作り上げるというのは感動ものです。



せとこまち

一同定した植物乳、酸菌が、あせひらヨーグルトに採用—



私は、医歯薬学総合研究科遺伝子制御科学研究室で、植物乳酸菌を用いた、生活習慣病の予防・改善に効果を示す植物乳酸菌の基礎研究をしていました。この研究に進んだきっかけは、私が所属していた研究室で、機能性食品を基盤とした新しいプロジェクトがスタートしたことです。健康食品が開発できることと、人々の健康に役立つ研究ができることが魅力的だったので、植物乳酸菌の研究に取り組みました。

無数にある植物乳酸菌の中から、優れた機能を持つ植物乳酸菌を分離・同定するのは、思った以上に難しい作業で、特に今話題のメタボに効果を示す植物乳酸菌を選別することが最も難しい課題でした。しかし、人々の健康に貢献できるという思いが、難問にチャレンジするエネルギーになりました。

結果的に私が分離・同定した植物乳酸菌は、あせひらヨーグルトに使われ、人々の健康に貢献できたので、今はとても幸せです。開発されたヨーグルトが、今後日本だけではなく、世界中の人々の健康に貢献できたらいいなと願っています。



平松 美菜子さん(歯学部4年)・富山 結布さん(歯学部3年)

私は、霞キャンパスで活動する学生クラブのバイテックで、「虫歯と歯周病を防ぐヨーグルト」を作る研究をしました。8020ヨーグルトは、虫歯や歯周病の元になる主要な口腔内細菌から歯の健康を守る史上初めてのヨーグルトです。2週間かけて行った試食試験では、口内の40～90%の虫歯菌を減らす効果が立証されました。

その効果の秘密は、虫歯の無い人の口腔内から採取した乳酸菌にあります。採取した多種類の乳酸菌から、菌ごとに味の異なるヨーグルトが出来上がり、どの菌の味が一番良いかを霞祭で試食会を行い決めました。人の口から採取した乳酸菌というと、抵抗のある方も多かったのですが、詳しく説明するうちに徐々にご理解いただけたのはうれしかったですね。歯磨きがうまくできない小さなお子さんや、お年寄りの方に、

自分たちの携わった研究が、人の役に立つ商品になったときには感動しました。間接的にでも、人の役に立つ研究をこれからもしていけたらと思います。同時に、苦勞して商品化した思い入れのある研究なので、後輩たちには技術だけでなく熱意も引き継いでもらいたいですね。



8020
ヨーグルト

学生取材班が行く

はやりのネタや時事問題、ちょっと気になる先生など、
あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。



挑戦！フィギュアスケート

外出がおっくうになる季節だからこそ、冬ならではのスポーツを満喫したい！そこで広大スケート部の指導のもと、広島ビッグウェーブでフィギュアスケートにチャレンジしました。

スケート部は、少人数ながら高い実績があり、日々レベルの高い練習を行っています。部員の近藤阿矢乃さん（医学部3年）と藤井雛さん（教育学部3年）は、フィギュアスケートの魅力について「練習をすればするほどうまくいきます。大会では、自分一人の演技が評価される



まずは靴の履き方から

ため、もらえた拍手や歓声が、そのまま達成感になります」と語ります。他の大学との合同練習や合宿も盛んで、夏季は、氷を求めて各地を飛び回ることも。人との出会いも、楽しみの一つだそうです。

レベルに合わせた親切丁寧なコーチのおかげで、われわれ取材班も怖かった氷に少しずつ慣れていき、最後はスピンの挑戦！もちろんスピンは、なかなかうまくはいきませんでしたが、テレビで見ただけだったフィギュアスケートが、身近に感じられました。できなかったことができるようになる過程が楽しく、初心者でも自分のペースで上達できるので、挑戦してみる価値あります。



まっすぐ進むだけでも一苦労、安全のためにヘルメットを！（左からHUスタッフ桑田、阿部、スケート部OBの亀井修一郎さん（工学研究科M2）、OGの平岡朋恵さん（文学部卒業）、HUスタッフ山本、スケート部の藤井さん、近藤さん）

最後に、スケート部から広大生にメッセージです。「初めてでも大丈夫。転ぶほどうまくいきます。まずは一度、スケートをしてみてください」。体験入部もできるので、この機会にチャレンジしてはいかがでしょうか。寒い冬こそスケートの楽しさを味わってください！

取材・記事/教育学部2年 山本 祥子

スケート部連絡先 E-mail : b081543@hiroshima-u.ac.jp
ブログ : <http://ameblo.jp/hiroshima-univ-skate/>

広島ビッグウェーブ
●所在地/広島市東区牛田新町1丁目8-3
●HP/<http://www.sports-or.city.hiroshima.jp/locate/02/>

広大の情報機器がより便利に

情報メディア教育研究センター（以下、メディアセンター）のパソコンが新しくなったことをご存じですか。より便利に変化する広大の情報機器について、メディアセンターの相原玲二センター長に伺いました。

「パソコンの台数を増やしてほしいというアンケートの要望を受け、メディアセンターは後期からパソコンを増設しました。既存のパソコンもすべて新しく更新し、その数はトータルで1,144台！ディスプレイも大きく使いやすくなりました。学部の端末室や図書館と、機種が



相原メディアセンター長



消費電力が少ない省エネパソコンに！

統一されて、どこでも同じ環境で利用できるようになっています。中央図書館のBIBLAのように、みんなで議論しながらパソコンが利用できるスペースもあります。いろんな使い方ができるので、どんどん利用してください。



中央図書館BIBLAは人気スポット！端末利用状況はメディアセンターのHPからリアルタイムで確認できます。



さらに、学生証で本人確認を行うようになったので、安全面もさらに強化。パソコンからの印刷は、1枚目から有料になりましたが、学生証に電子マネー機能が付いたため、現金で支払う必要はなくなり便利です。

ところで、広大がマイクロソフト社と包括ライセンス契約をしていることはご存じですか。広大生はWord、Excel、PowerPointなどを含むMicrosoft OfficeやWindows OSを無料で利用できます。「無料で利用できるといっても、皆さんの授業料から契約料を払っているのだから、より多くの学生に、有効に、正しく使ってほしい。学習・研究・就職にもっと役立ててください」と相原センター長。

ますます情報機器が便利になっていく広大。どんどん利用しないと損ですよ！

取材・記事/法学部3年 香田 千尋

情報メディア教育研究センター HP <http://www.media.hiroshima-u.ac.jp/>

Knock on the door

世界屈指の研究施設から オリジナルの発見へ

理学研究科 附属両生類研究施設 住田研究室訪問

透明ガエル「スケルピオン」の発明

「趣味は、カエルです」今回訪問した住田先生は、そう公言するくらいカエル研究に熱意を注いでこられました。先生は、両生類のゲノムの多様性や交雑実験に基づいた種の多様性などを研究しています。そんな先生が3年前に開発したのが、解剖をせずに内臓を観察できる透明ガエル「スケルピオン」です。

「年間数万匹の実験ガエルが殺されています。もし、解剖をせずに内臓を見ることができれば、とても役に立つ実験動物になるのではないかという発想から、皮膚の色素を欠く2種類の色彩突然変異のカエルを掛け合わせ、スケルピオンが完成しました」

スケルピオンは、今年量産化に成功しており、今後は環境、医学、生物学などの分野で、新しい実験動物として活躍することになりそうです。

絶滅危惧種の保全のために

先生に案内してもらって、取材班は先生ご自慢のカエル飼育施設を見学させていただきました。扉を開けると、スケルピオンをはじめ、見たことがないカエルがたくさん！その中の一つが、鹿児島県と沖縄県に生息し、環境省の絶滅危惧種で県の天然記念物にも指定されたイシカワガエル。日本一きれいだとされるカエルです。先生は、イシカワガエルの人工繁殖に成功し、現在2代目のイシカワガエルをこの施設で飼育しています。

「この飼育施設は、昨年改修したばかりで、研究にとっても役立っています。実験室でのカエルの飼育維持は非常に困難で、国内外のさまざまなカエルを飼育し、系統維持しながら研究している研究施設は、世界的に見ても非常にユニークです。最近ではDNAを用いた研究が主流で、私たちのように、生きたカエルそのものを扱う研究者は少なくなってきました。生き物を扱うのは大変ですが、ほかではできない実験が可能ですし、その分実験結果への評価は高く、ここで研究ができることを大変誇りに思います」

附属両生類研究施設では、絶滅危惧種保全のために、そのほかにも多くの研究が行われています。

求めよ、さらば与えられん

「研究室の学生には、常にオリジナリティーを求めるように指導しています。ほかではできないユニークな研究方法・着眼点があれば、オリジナルな実験結果が出せるし、それはやがて世界に認められる研究になるからです」

先生は、この研究施設の恩師が書いたたくさんの論文を手にとって、先達の業績に恥じぬよう、これからも多くの発見をしていきたいと目標を語りました。「Boys be ambitious」「求めよ、さらば与えられん」先生が私たち広大生にくれた言葉です。

「学生には無限の可能性あります。自分で制限せずに、とことん追求してほしいです。大学の4年間は、『深く広く』根を張り、これからの人生への十分な栄養を吸収する大切な備えの時期です。将来、花を咲かせ実を収穫する日のために、がんばってほしいです。世界一じゃなくても、世界でただ一つの花を咲かせられればいいのです」

取材・記事/教育学部1年 野元 祥太郎

PROFILE

住田 正幸

理学研究科 附属両生類研究施設 教授



広島大学大学院理学研究科博士課程後期修了。日本学術振興会奨励研究員、本学理学部助手などを経て、1997年助教授、2002年より現職。専門は両生類進化遺伝学。人工交配により、生体で臓器観察ができる透明ガエルを世界で初めて作製。絶滅危惧種の人工繁殖と飼育維持にも取り組んでいる。博士（理学）。



透明ガエル「スケルピオン」



絶滅危惧種の人工繁殖に取り組んでいます
上：イシカワガエル 下：イボイモリ



研究室の学生たちと記念撮影





有富大輔 *Daisuke Aritomi*
アサヒビール株式会社 中国統括本部 営業企画部
(2008年3月 生物圏科学研究科修了)
みんなに幸せを届けたい。

—どんな仕事をしていますか？

営業企画部に所属しています。販売店に自社商品を置いてもらい、お客さまに商品を手に取ってもらうにはどうしたら良いかという販売戦略を立て、営業部門と協力して、販売促進に取り組んでいます。本社から指示される業務もありますが、現場の生の意見を社内ミーティングで議論し、広島県や中四国地域を単位とした、独自の戦略を展開することもあります。自分たちで考えたアイデアを自分たちで実行できるのが面白いですね。

—なぜ、この仕事に？

食べているときって、幸せな時間ですね。幸せになれる食べ物を届ける仕事がしたくて、高校のころは料理人にな



りたいと思っていました。進路を決めるとき、より多くの人の食にかかわる仕事がしたいと思い、食品関係について学べる生物生産学部へ入学し、そしてアサヒビールへ就職しました。自分の身近な人を幸せにできる食べ物を一からつくる仕事に携われるのは、とてもうれしいことです。

—学生時代の経験で、役立っていることは？

在学中はHU-styleの学生スタッフをしていたのですが、良かったことが二つあります。まず「他人から見て面白いことはなんだろう？」って、考えるようになったこと。最初のうちは記事を書くために淡々と取材をしていましたが、次第にもっと面白くするにはどうすればいいか考えるようになりました。誰をどう楽しませたいのかを考えて、何も無いところから企画を生み出すのは、エネルギーが要るけれど、楽しい。これは今の仕事にもつながっています。もう一つは、取材を通してたくさんの人に出会えたことで、もっと視野を広げようという意識が身に付いたことです。



—大事にしていることは？

円滑な意思疎通ができるように、周りの人とのチームワークを大事にしています。僕は内勤ですが、現場で営業をしている仲間との連携を大事にしています。そのためには、メールのやりとりだけで終わらないように、実際に現場へ応援に行くこともあります。

大学のレポートでも同じで、家で自分一人でやるよりも、みんなで集まってやると楽しいし、モチベーションも上がりますよね。何より、いろんな人の意見を一つ一つ積み重ねていくことで、視野が広がるし、実際にいいものが出来上がっていきます。

—5年後10年後になりたい自分は？

笑いながら、楽しいと思える仕事をしたいですね。お客さまを楽しませる商品を作りたいし、職場の仲間同士でも仕事を楽しみたい。今はまだ未熟ですが、「自分のかかわる仕事が、お客さまはもちろん仲間や会社にどういうメリットがあって、何に貢献できるか？」そういう意識を常に持って、ワンステップ上に進みたいと思います。

社会の第1線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。
仕事のことから学生時代に身に付けておくべきことは、またまたメンバーの話を聞いてみた。
私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

羅針盤

compass

OB&OG紹介



—現在の仕事を選ばれたきっかけは？

リクルートは、時代に応じて新しい情報サービスを提供する会社です。私自身、リクルートの「新しさ」に魅力を感じていました。前職では、社員の異動や昇級の手配を主務としていたので、お客さまと接する機会がほとんどなかったんです。「直接お客さまの声を聴いて、お客さまの役に立てる仕事がしたい」と考えるようになったのが、転職のきっかけです。



—仕事でやりがいを感じることで、逆に変なことは？

現在、CS（顧客満足）推進室に所属し、お客さまからの問い合わせ内容を分析したり、商品・サービスの改善提案をしたりしています。一つのサービスができるまでに、企画・営業・制作など、本当にたくさんのスタッフが携わっているんです。各部署にお客さまの声を伝え、折衝を重ねる中で、より魅力的なサービスが生まれたときは、喜びもひとしおです。

時にはシステムエラーなどで、お客さまから厳しいお叱りやクレームを受けることもあります。お話を伺う中で、感謝の言葉や今後のサービスへの期待を聞いた時には、安堵と喜びで胸がいっぱいになります。お客さまの生の声が、より良い仕事への原動力になっています。

—学生時代の経験で、今生きていることは？

総合科学部に在籍していたこともあり、視野を広げて総

合的に考える姿勢を大切にしていました。在学中は、幅広い知識を身に付けるため、いろいろな学部の授業を受けました。カスタマー対応は、お金や法律、システム関係などさまざまな分野の質問に答える必要があります。学生時代に、多様な分野の授業を受けて、ある程度基礎的な知識を身に付けていたのが役に立っています。

—今大切にしていることは？

周りの人への気配りですね。小さなことでも誰かに何かしてもらったら「ありがとう」と言うよう心掛けています。簡単なことのように、忙しいとつい忘れてしまうんですね。忙しければ忙しいほど、周りへの気配りを意識的に行うようにしています。普段から周囲と良好な関係を築いていけば、何かあった時に助けてくれる心強い仲間ができますよ。



—広大生へメッセージを

自主性を大切にしてください。自ら動く！考える！取りに行く！受け身では理解度も下がるし、楽しくありません。授業を受けるときは、少しでも多くの知識を身に付けようとする意識で臨めばいいと思います。あとは、続けてみる。最初はつまらなく思えることも、続けるうちに楽しみが生まれることだってありますからね。社会人になってもさまざまな問題が立ちはだかり、それを乗り越える力が求められます。一つの目標を達成できればまた次の目標へ。自分の足でどんどん次のステージへ進んでいってください。



丸一真実 *Mami Maruichi*

株式会社リクルート CS推進室 企画グループ
(2007年3月 総合科学部卒業)

人とかかわりが仕事の醍醐味。気配りを大切に！

取材を終えて



「[これだけが仕事]と枠にはまらず、[これも仕事]と、いろんな仕事にチャレンジしたいですね」とほからかに語る有富さんの姿が印象的でした。自分も同じように、サークルやバイトや趣味、そしてもっと多くのことを楽しんで行動できる人になりたいと強く思いました。

取材・記事/法学部2年 武林 賢朋



丸一さんの印象は、一言でいえば「できる女性」。何事にも全力で、常に自分を高めていこうとする姿勢がすてきでした。私自身今まで、社会へ出て働くというイメージがつかめていなかったのですが、今回の取材で丸一さんが働く女性として活躍されている姿を見て、将来働くことへの希望や意欲を得ることができました。

取材・記事/教育学部2年 渡邊 綾香



勉強だけじゃなく、いろいろなことにチャレンジ —留学で変わった人生観—

周 成梅 Zhou Chengmei
文学研究科博士課程後期1年（中国出身）



プロフィール
中国広西チワン族自治区南寧市出身。広島大学で4年間日本語を専攻した後、日本文化を学ぶため留学を決意し、2008年10月から広島大学文学研究科博士課程前期に入学。2010年10月からは博士課程後期に進み、日本服飾史を専攻。主に平安中後期の女性貴族の服飾＝女房装束〔俗称十二単（ひとえ）〕を研究している。将来は中国で大学教員になって、日本語と日本文化を教えたいと思っている。

緑あふれる広西

広西チワン族自治区は、中国南部に位置し、55ある中国少数民族の中で、最も人口が多いチワン族の自治区です。チワン語はタイ語やラーオ語（ラオスの公用語）と同じ語族に属し、発音も文法も似ています。有名な観光地としては、桂林が挙げられます。

区都の南寧市は亜熱帯に属し、四季はそれほどはっきりしません。市花のハイビスカスが代表するように、南国情調があふれ、一年中緑がいっぱいなので、「緑の都」とも言われています。中国—アセアン博覧会が、2004年から毎年南寧市で開催されており、東南アジア諸国との貿易交流を深める拠点的な存在になりつつあります。

汽車で27時間かけて受験

私は、広島大学で日本語を専攻し、4年間日本について勉強しました。次第に、日本の文化に対する関心が強くなり、大学3年の時、恩

師を通じて、広島大学北京研究センターが留学生を募集していることを知り、応募しました。入学試験のために、2回北京に行きました。実家から汽車で27時間かかりましたが、無事合格できました。

広島大学は広く、景色の良いキャンパスです。特に、春の桜や秋のいちよう・もみじなど、四季を飾る植物が印象的です。しかし学生は寮に入らず下宿している人が多いので、最初は少し寂しい感じがしまし



大学3年生の時に、クラスメートと広島大学正門で（パーベキューに出発する前）



広島大学日本語科が主催の第3回日本文化祭で踊る日本語科の学生



酒まつりで中国人留学生と水餃子を販売。浅原学長と記念写真（筆者は白い帽子）



2010年度中国・四国・九州地方留学生・奨学生交流集会でドミノ研修に参加

た。中国の大学生は90%以上寮に住んでいるので、キャンパスには、飲食店・スーパー・郵便局・銀行・交番まで何でもそろっています。中国の大学は生活の場でもあるので、とてもにぎやかです。

広大生は親切で、心の温かい人が多いです。バイトがなくて困ったときに紹介してくれたり、引っ越しの手伝いをしてくれたり、ストレスで不眠症になったときは対策をいろいろ調べてくれたりしました。

いろいろな経験に挑戦

留学で、人生観が変わりました。学部生の時は毎日勉強で、授業以外はほとんど図書館で過ごしていました。しかし広島大学での交流を通じて、人生って勉強や仕事だけじゃないと考えるようになりました。

ボランティア活動や課外活動にも積極的に参加し、もっと豊かな人

生が送れるように、いろいろなことにチャレンジしています。夏には地域の肝試しでお化け役をやり、ほとんど聞き取れない落語を聞きに行き、古民家の調査にも参加しました。最近では、ピア・サポーターになるためにセミナーを受講しがんばっています。

広島大学の皆さんには、一見無駄に思えることも、ぜひチャレンジしてもらいたいです。そもそも人生には無駄なことはないと思います。何事もやり遂げたことは、すべ

て自分の力になると思います。

（原文／日本語）

印象的なエピソード

温泉のまち別府市へ旅行に行ったときのことです。日本の温泉は、今も男女混浴だと聞いていたので、現地に行って地元のおじいさんに「ずっと前から男女別々になってるよ」と教えてもらったときには、顔が真っ赤になりました。また「地獄めぐり」は、入浴する「温泉めぐり」だと思っていましたが、温度が100度近い温泉や、変わった色の温泉などもあり、入浴ではなく、観覧を目的とした温泉があると知って、びっくりしました。



体感地球 わたしの世界見聞録

“海外から広大へ”来て学んでいる外国人留学生＆“広大から海外へ”行って学んでいる日本人留学生。「外国人から見た日本は?」「日本人が見た外国とは?」…留学生ならではの視点で、見たこと、聞いたこと、感じたことをレポートします。



いろいろな壁も 経験になる —挫折が一番の収穫—

田中 早代 Sayo Tanaka
総合科学部4年



プロフィール
大学を休学し、ワーキングホリデーで2009年3月からオーストラリア・メルボルンに8カ月間滞在。現地の中学校・高等学校でALT*や高校生の家庭教師、ウエートレスなどをしながら、オーストラリア人の大学生4人と一軒家をシェアハウスして生活。将来は英語を生かした仕事をしたいと思っている。
※ALT (Assistant Language Teacher)：外国語指導助手
【使用言語】英語
【費用】渡航費・保険・当面の生活費／約30万円

社会経験のため、渡航を決意

留学の一番の目的は社会勉強でした。海外でいろいろな経験がしたいという好奇心と、学生のうちに一度社会に出て働いてみたいという思いから、渡航を決意しました。大学への交換留学ではなく、時間をかけていろんなことに挑戦できる、ワーキングホリデーを選びました。

仕事をしながら地元の大学生と交流

メルボルンに着いてからは、まず仕事探しでした。私は大学で高校英語教員免許を取る予定なので、海外の教育現場に関心がありました。「当たって砕けろ」の精神で、学校に履歴書を送り、ALTとして働かせてほしいと頼み込みました。ありがたいことに、いくつかの学校で受け入れてもらい、中学校と高校での仕事が始まりました。オーストラリアの子どもはとても元気で、積極的に発言をします。日本に比べて、教師と生徒とのコミュニケーションはとても活発です。

日本では、学校で何年も英語を学ぶのに、英語を話せないと言われています。ALTを経験して、日本の英語教育が具体的にこれから何をすべきかについて、いろいろ考えさせられました。

学校の仕事はパートタイムだったので、空いた時間にはウエートレスのアルバイトや、日本に強い関心を持っている生徒の家庭教師も行いました。ほかにもメルボルン大学に遊びに行って友達をつくったり、パリスタのレッスンを受けたりと、さまざまなことに挑戦しました。夜行列車での旅行や、友達とJazzクラブに行ったことも、最高の思い出です。

留学ではいろんな経験を

留学前は語学の勉強も大事ですが、行きたい場所、やりたいことなどを想像して、気持ちを盛り上げておくといいです。現地では、実際大変なこともあります。メルボルンの街並み



メルボルンの街並み



ゴールドコーストのサーファーズパラダイスというビーチ

私の場合「何とかなる」とポジティブな気持ちで行動していたので、大胆かつ積極的に、いろんなことに挑戦できました。

一方、帰国後に感じたのは、渡航前にもっとオーストラリアの歴史や文化を勉強しておけば良かったということ。それを知っていると、現地の人との話も膨らみ、生活の中での「気付き」も多く、留学がもっと深いものになったと思います。

海外経験を生かして

この海外経験では、挫折を味わったことが一番の収穫です。ハウスメイトとの人間関係や、根強いアジア人差別、仕事の悩みなど、思うように事が進まないフラストレーションに苦しんだ時期もありました。



コアラに実際に触ることができました

海外で暮らすことは楽しいことばかりではなく、いろいろな壁があります。そのつらさを経験したからこそ、海外から日本に来て悩んでいる人がいれば力になりたいと思うようになりました。海外にいたときよりも、帰国後の方が気付くことがたくさんあります。

留学したい気持ちが少しでもあるなら、絶対挑戦した方がいいです。経験は、その後の大きな力になるはずです。

印象的なエピソード

一緒に生活した、オーストラリアの大学生の生活は、かなり印象的。平日は大学の勉強が大変な分、週末はのんびり過ごします。天気の良い日はお昼から庭でビールを飲み、友達とおしゃべりをします。朝早くからマーケットに行ったり、車で遠出して海やワイン園に行ったりすることも。金曜日の夜は決まってパーティーで、みんなとても社交的です。オージーはとにかくビールとパーティーが好き。彼らと同じ生活をしていたら恐ろしいほど太りました（笑）。



学生取材班が行く 特別編

汗と涙の教育実習

広島大学は、優秀な教師を輩出することで有名。教育実習は、そんな教師を目指す学生の登竜門です。今年度は、附属学校全体で600人以上の学生が、「先生」になる経験をしました。そのうち、附属東雲中学校で教育実習に心血を注ぐ実習生を取材しました。

教育実習担当
植田敦三教育学研究科教授
からのメッセージ

教育実習の目的の一つは、大学で学んだ理論と実践の「統合」です。理論をそのまま現場に適用するのではなく、現場の状況に対応しながら実践をつくっていくのです。子どもあつての教育ですから、彼らに即した教育をすることが重要です。教師は学び続けなければなりません。教育実習関係科目を通して学んだことを生かして、有意義な大学生活を送ってもらいたいですね。



期間 10月5日～10月19日 **場所** 附属東雲中学校 **対象** 学部3・4年生 (54人)

徹夜で準備
2週間の実習で、私が担当した授業は7回。一番大変なのは指導案作りです。授業の準備に必死で、朝の6時までかかることも。がむしゃらにがんばれたのは、東雲中学校指導担当の野村先生と、慕ってくれた子どもたちのおかげです。

初日の1時間目に授業があって、前日すごくプレッシャーを感じていました。夜8時、いても立ってもいられず、一人教室に入って授業の練習を始めました。しんとした教室で一人、チョーク片手にしゃべっていると、しばらくして野村先生が入ってきました。何も言わずいすに座って、生徒役になってくれたんです。先生の温かさ涙が出ました。野村先生をはじめ、支えてくれる先生がいたから、必死に授業づくりに打ち込みました。

先生に感謝



どれだけ必死に準備していても、教壇に立つと、指導案どおりにいくとは限りません。自分の力不足に、悔しくて泣きそうなきもありません。でも、頼ってくれる子どもたちの笑顔に、たくさん元気をもらってがんばれました。教育はあくまでも子どもたちが主体で、教師は彼らの学習を支える存在だと思います。

子どもが大好き



この教育実習は、私の教師としての原点になりそうです。実習中は不安や悔しさで涙しましたが、いまはやり遂げたという達成感とともに、自信もつきました。子どもたちの成長を支えられる、すてきな先生を目指してこれからもがんばっていきます!

先生目指して一直線!!



汗と涙の実習必需品



指導案
授業の進め方を書いた計画書。この指導案を書くのが一番大変。



ダンボール
資料を作るときやパソコンを置く机の代わりとなる。実習校近くのアパートなどに泊まり込むので、机は各自で用意する。



ファイル
プリントなど授業資料をとじる。何百枚もの関連書類を整理するの、パンパンになることも。



取材を終えて

教育にとことん真剣に取り組む実習生たちは、すごくカッコいい。篠田さんをはじめ、教師を目指す友人たちを本当に尊敬しています。来春から教育系出版社で働く私も、全力でがんばりぬいて、学校で立派な教師になっているみんなに会いに行きます。

取材・記事/教育学部4年 林 良輔

己に克つ!

広島大学体育会
空手道部

こんにちは。広島大学体育会空手道部です。突然ですが、皆さんは空手にどんなイメージを持っていますか? 強い・痛そう・瓦割りなどいろいろあると思いますが、殴ったり蹴ったりという、暴力的なイメージが強いのではないのでしょうか?

空手道は沖縄発祥の武道ですが、中国から伝わった拳法の影響を受けて発展しました。私たちが練習しているスポーツ空手は、打撃はせずに寸前で止める寸止めを原則としています。マウスピースや拳サポーターという防具を使用するため、大きなけがはほとんどありません。

空手の試合には、大きく分けて形と組手の2種目があります。形とは、さまざまな場面を想定して、突き・蹴り・受けなどを組み合わせたもので、組手は実際に相手と向かい合い、実践に近い攻防をするものです。特に組手は、力任せに突くというより、突きや蹴りの速さやタイミングがポイントなので、運動部に入っていた経験がなくても、コツをつかめばすぐにうまくなりますよ!



組手試合の様子



基本練習風景

空手道部は、現在約20人(うち女子5人)で活動しています。そのうち半分が、大学から空手を始めた初心者です。練習は、水・木・土曜日に西体育館2階の剣道場で、組手を中心に、形や基本の練習をしています。また月・火曜日も、自主練習でランニングや、西体育館1階のトレーニングルームで筋トレをしています。



強化練習での部員集合写真

部員は随時募集中! 経験がなくても大丈夫です。先輩が優しく丁寧に指導してくれます。少しでも空手に興味を持ったら、ぜひ気軽に剣道場へ来てください。練習時間など詳しい情報は、ホームページで連絡先へお問い合わせください。部員一同お待ちしております。(記事/広島大学体育会空手道部・文学部1年 香川 真里奈)

連絡先 b085328@hiroshima-u.ac.jp

HP http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/2412/

発見!
元気人

ガンバル広大生の
PRページ。
みんなで応援しよう!

映画で地域を
元気に!

東広島映画祭
実行委員会

東広島映画祭実行委員会は、映画で大学と地域をつなげよう!という、熱い思いを持った広大学生の組織です!

東広島市は学園都市ですが、市民と大学生の交流する場はまだ少ないと思います。また最近では、メディアが多様化し、学生が映画館に足を運ぶ機会が減っています。そこで私たちは、この2つの課題を結び付け、映画を通して大学と地域のつながりを築くことを目指し活動しています。

東広島映画祭の特徴は、何ととってもオールナ

イトで映画館を貸し切るという、学生ならではのプログラムの内容です。

東広島映画祭は2007年から毎年開催しており、第4回に当たる今年度は、10月23日に開催しました。今年度は、実行委員が厳選した映画5本の上映、映画監督佐々部清氏や俳優小林裕吉氏を招いてのトークショー、アマチュア制作によるショートフィルムのコンペティション上映のほかに、飛び入りで城みちる氏のライブも行われるなど、大盛況のうちに幕を閉じました。



会場を埋め尽くすお客さま。延べ250人の方にご来場いただきました。



会場入り口の様子。さまざまな設営物で映画祭を彩りました。

準備は一年がかりで、上映作品の選考、ショートフィルム集め、営業、広報、当日の運営まで、すべて学生が行います。準備は大変な時もありますが、同時に良い社会経験になります。映画業界やマスメディアで働く社会人の方とかかわる機会も多く、普段の大学生活では得られないさまざまな体験ができます。



会場の受付の様子。座席指定なども映画祭メンバーで行います。



ショートフィルムコンペティションの表彰。左は佐々部清監督。

現在、実行委員会は、来年度(第5回)に向けて準備を進めています。今はまだ発展途上ですが、ゆくゆくは東広島市を代表するイベントに成長させ、地域発展の担い手になりたいと考えています!(記事/第4回東広島映画祭実行委員会・文学部2年 坂川 広行)

連絡先 h2f2.5th@gmail.com

HP http://home.hiroshima-u.ac.jp/filmfes2/

※PRしたい広大生大募集! 投稿を希望される方は広報グループまで(連絡先は、P18を参照)。

Hi! Hirodai Information

学内の重要なお知らせから、耳寄りなニュースまで。広大生必読のインフォメーションです。

第4回広島大学ホームカミングデー（HCD）を11/6(土)に開催

HCDは、毎年11月の第1土曜日に開催。本年度は、サタケメモリアルホールで小泉武夫氏と東ちづる氏の講演、ホール前で学生チーム企画や物産展などを行い、多くの同窓生や市民の方々にぎわいました。



広島大学大学祭は今年も盛況

11月6日(土)・7日(日)の2日間、広島キャンパスで、第59回広島大学大学祭・第11回広島大学教育学部祭が開催されました。また11月13日(土)・14日(日)の2日間は、霞キャンパスで、第43回霞祭が開催されました。



中国五大学学生競技大会で総合優勝

11月6日(土)から14日(日)にかけて開催された、第61回中国五大学学生競技大会(冬季大会)で、本学が1位となり、夏季大会と合わせた総合成績でも見事優勝。13連覇を達成しました。



●広島大学の成績(冬季大会)

競技種目		順位	位	
庭球	男子	1位	女子	2位
サッカー		1位		
ラグビー		3位		
バスケットボール	男子	1位	女子	1位
柔道	男子	3位	女子	1位
剣道	男子	2位	女子	1位
アーチェリー	男子	1位	女子	3位
ハンドボール		3位		

バレーボール部が中国大会で優勝

10月16日(土)から31日(日)にかけて、和気町体育館、萩市民体育館、広島経済大学体育館で行われた平成22年度72回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会の女子1部リーグで、バレーボール部が優勝しました。

ソフトテニス部が3大会で活躍

8月26日(木)から29日(日)に、岡山県備前市で行われた中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦大会、9月14日(火)から17日(金)に、維新百年記念運動公園テニスコートで行われた中国・四国・九州三地区学生ソフトテニス選手権大会、10月8日(金)から10月10日(日)に、松山市中央公園テニスコートで行われた中国・四国学生ソフトテニス選手権大会で、ソフトテニス部が優秀な成績を収めました。

●中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦大会

団体/男子 優勝

岡田 知之(教育学部3年)
山本 昂大(教育学部2年)

個人/女子 優勝

中村 友里(教育学部1年)
工藤香那子(教育学部3年)

シングルス/男子 優勝

玉井 信也(工学部3年)

シングルス/女子 優勝

西永 みさき(教育学部2年)

●中国・四国・九州三地区学生ソフトテニス選手権大会

個人/男子 優勝

村上 賢一(教育学部1年)
山口 慶護(教育学部3年)

個人/女子 優勝

中村 友里(教育学部1年)
西永 みさき(教育学部2年)

●中国・四国学生ソフトテニス選手権大会

団体/男子、団体/女子 優勝

西永 みさき(教育学部2年)
朝日 翔子(教育学部3年)



ハンドボール部が中四国大会で好成績

8月29日(日)から9月2日(木)にかけて、広島県立総合体育館で行われた男子第48回中四国学生ハンドボールリーグ戦秋季大会で、ハンドボール部が団体男子2部で優勝しました。

日本学生トライアスロン選手権で男子団体3位入賞

9月12日(日)に、香川県観音寺市で行われた2010日本学生トライアスロン選手権観音寺大会で、トライアスロン部が男子団体3位に入賞しました。

体操部が中四国大会で優勝

9月18日(土)・19日(日)に、高知県青少年センターで行われた平成22年度中四国学生体操競技選手権大会で、体操部が男子団体に優勝しました。

全日本学生フランス語弁論大会で優勝

11月13日(土)に、京都外国語大学で開催された第42回全日本学生フランス語弁論大会で、片岡彩子さん(文学部3年)が優勝しました。弁論タイトルは「田舎万歳(Vive la campagne!)」でした。

陸上競技部が3大会で好成績

9月23日(祝)に、西城町陸上トレーニングセンターで行われた第42回全日本大学駅伝対校選手権大会中国四国地区最終予選会で、陸上競技部が1位の結果を残しました。また10月22日(金)から10月24日(日)にかけて、鳴門総合運動公園陸上競技場で行われた第33回中国四国学生陸上競技選手権大会で、松木一馬さん(教育学部2年)が10,000mW1位、真鍋佑太さん(教育学部4年)がやり投1位の優秀な成績を収めました。

さらに12月5日(日)に、山口市内で行われた第54回中国四国学生駅伝競技大会では、陸上競技部の広島大Aチームが、14度目の優勝を果たし、2011年10月の出雲全日本大学選抜駅伝への出場を決めています。

アーチェリー部の内田康裕さんが全国大会で活躍

9月25日(土)・26日(日)に、菊陽町杉並木公園内スポーツ広場(熊本県)で行われた第20回A.J.S.A.F(全日本学生アーチェリー連盟)ーCUPで、アーチェリー部の内田康裕さん(経済学部4年)が選抜メンバーに選ばれ(中国四国Aチーム)、チームの準優勝に貢献しました。

フェンシング部の2人が3部門で優勝

10月16日(土)から17日(日)にかけて、九州大学箱崎キャンパスで行われた全日本学生フェンシング選手権大会中四国九州予選で、フェンシング部が優秀な成績を収めました。

フルーレ 優勝 高木 雄也(文学部3年)

エペ 優勝 高木 雄也(文学部3年)

サーブル 優勝 津田 直人(工学部4年)

将棋部が中四国大会で優勝

5月2日(日)から4日(祝)に、倉敷市民会館で行われた第83回中国・四国地区学生将棋大会で、将棋部の佐々部義之さん(総合科学部3年)が個人優勝を果たしました。また10月9日(土)から11日(祝)にかけて、防府市公会堂で行われた第84回中国・四国地区学生将棋大会で、将棋部が団体A級で優勝し、佐々部義之さんは個人優勝も果たしました。

アメリカンフットボール部が全国大会に出場



優勝を果たした時の集合写真

8月29日(日)から10月23日(土)にかけて、広島広域公園第二球技場で行われた中四国学生アメリカンフットボール秋季リーグで、アメリカンフットボール部が優勝を果たしました。全国大会である全日本大学アメリカンフットボール選手権へ、初めての出場を果たしました。

フェニックス駅伝開催

12月5日(日)、第48回フェニックス駅伝が広島キャンパス周辺で開催されました。晴天に恵まれ、



一般の部83チーム、女子の部26チームの計109チーム、総勢768人が競いました。上位チームは以下のとおり。

一般の部 30.8km

1位/広島ランナーズA
2位/トライアスロンガルズA
3位/広島市スーパースターズ

女子の部 11.1km

1位/広島市スーパースターズ
2位/乱我流途 家光
3位/水泳部女子A

中・四国国立大学連合演奏会・美術展覧会を開催

12月11日(土)から12日(日)にかけて、鳥取県とりぎん文化会館で第56回中・四国国立大学連合演奏会・美術展覧会が開催されました。当会は昭和29年に始まり、中・四国の国立大学が参加しています。今年は鳥取大学が当番大学となり、本学からも多数の団体が音楽部門・美術部門に参加しました。

HU-style 学生スタッフが WebCM を作りました

HU-style 学生スタッフが、広大 WebCM を制作しました。「きっと、見つかる」をテーマに、学生34人、教授1人が出演。疾走感あふれる2分間の映像で、広大の魅力をアピールします。制作期間は約3カ月、有志のスタッフ約20人が映像制作に初挑戦しました。WebCMは、HU-style ブログで公開しています。ぜひご覧ください!



ブログ <https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/hu-style/>

第2回 START* プログラム実施

海外経験の少ない学部1年生を対象に、海外の協定校を訪問し、交流や観光などを行うSTARTプログラムを行います。第2回となる今回は、3月2日(水)から15日(火)の14日間、ベトナムのホーチミン市人文社会科学大学などを訪問します。

*START = Study Tour Abroad for Realization and Transformation

問い合わせ先 / 国際センター国際交流グループ(学生プラザ3F)

TEL/082-424-4346 E-mail/start@hiroshima-u.ac.jp

歯学部が、障がいを持つ職員と清掃活動を実施

10月21日(木)から11月12日(金)にかけて、歯学部歯学科5年生全員が、実習の一環として、歯学部棟の教室やロッカーを清掃しました。



現在、清掃は、障がいを持つ職員が環境担当チームの一員として行っていますが、一緒に清掃をしたことで、人の気持ちを考えながら行動する大切さを学びました。

編集部からのお知らせ

●HU-style (エイチユースタイル) 編集基本方針

- 学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしてみらうべく、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめさまざまな人々が持つ多様な個性、価値観など (style) を紹介する。
- 本学に関する情報の伝達と周知

●投稿募集

- ①掲載記事について

1件につき、400字以内でお寄せください。氏名（ふりがな）、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきますことがあります。紙上での匿名もOKです。
- ②情報の提供、『HU-style』への提言

取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名（ふりがな）、所属、学年、連絡先を明記。

※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

●学生広報スタッフ募集!

本誌の企画・編集に参加していただける学生を募集しています。希望される方は、まずはEメールでご連絡ください。

●定期購読のお申し込み

学外の方で、定期購読を希望される方は、住所、氏名（ふりがな）、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

●本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます

●個人情報保護について

投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

●お問い合わせ・お申し込み

広島大学広報グループ『HU-style』編集担当

(連絡先は下記参照)

編集後記

今回のOB&OGは『HU-style』が創刊したころの学生スタッフです。バックナンバーを読み返すと、あらためていろんな特集があったことが分かります。特集は「最近、広大から誕生した食品をいろんなところで見ようになった」という編集会議での一言から、企画が始まりました。取り上げた広大ブランドは、どれも健康に役立ちそうなものばかりです。7年目を迎えた本誌ですが、産学連携の取り組みを特集するのは今回が初めて。『HU-style』はこれからも新たな企画を探索していきます。

(編集部員K)

HU-style 2011年1月号 Vol.24 (季刊)

編集・発行 広島大学広報グループ
住 所 〒739-8511 広島市鏡山一丁目3番2号
電 話 082-424-6017
F a x 082-424-6040
E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp
制 作 有限会社トゥービー
印 刷 中本総合印刷株式会社

※次号は4月上旬発行予定です。(4月、7月、10月、1月の年4回発行)

COVERな人 第24号

表紙の撮影場所は、マーメイドカフェ(左のカットは、カフェの前で撮影しました)。コーヒーカップを片手に、おしゃれに落ち着いた雰囲気です。優しい笑顔がとてもステキです。

見上 史織さん

- 文学部3年
- 広報関係に就職したくて就活中。表紙の撮影がモチベーションアップにつながりました。

本人コメント

プロの方に撮影してもらうチャンスがあるということで、友達の勧めに後押しされ、表紙モデルに応募しました。初めての経験でとても緊張しましたが、カメラマンの方がとてもユニークで、楽しかったです。撮影をしたマーメイドカフェには、おいしいパンを求めてよく行きます。皆さんもぜひ行ってみてください。

表紙モデル募集

表紙を飾ってくれる学生を募集します。ぜひ出てみたいという方、ちょっと興味があるんだけど…という方は、気軽に編集部までご連絡ください。自薦他薦は問いません。

CONTENTS

01 あの人に会いたい

01 前田健太

07 学生取材班が行く

07 挑戦! フィギュアスケート

07 広大の情報機器がより便利に

09 羅針盤 OB&OG紹介

09 有 富 大 輔

10 丸 一 真 実

13 学生取材班が行く「特別編」

13 汗と涙の教育実習

15 Hi! Hirodai Information

15 各種お知らせ

16 COVERな人

16 編集部からのお知らせ

広島大学の公式ツイッターを始めました!

広島大学は、大学をもっと身近に感じていただくため、公式ツイッターを開設しました。最新ニュースや日々の出来事など、広報トピックスを大学広報担当がツイートしています。

これからも、ツイッターをはじめ、ウェブを活用した広報活動を充実させていきたいと考えています。

フォロー
よろしく
お願いします!



アカウント @Hiroshima_Univ

本学公式ウェブサイトからも閲覧できます

問い合わせ先 / 広報グループ TEL/082-424-6131

新たに奨励金制度を創設しました!

広島大学は、経済的に困窮する学生を支援するため、独自に広島大学修学継続奨励金制度を創設しました。この制度は授業料免除申請不許可者のうち、所定の基準を満たす学生に奨励金を給付するもので、今後数年間継続する予定です。

問い合わせ先 / 教育室経済支援グループ TEL/082-424-6163

広島大学合唱団が定期演奏会を開催

12月11日(土)に、サタケメモリアルホールで、広島大学合唱団第53回定期演奏会が開催され、日ごろの練習の成果が披露されました。

P R コー ナー

大学院教育学研究科
造形芸術教育学専修・教育学部芸術系コース
修了・卒業制作展/論文発表会

学内展 日 時:2月14日(月)~18日(金)
10:00~20:00

展 場 所: 広島大学 大学会館

学外展 日 時:2月22日(火)~27日(日)

展 場 所: 広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー

論文発表会 日 時:2月26日(土) 13:00~16:00

展 場 所: 広島県立美術館 地下1階講堂

連絡先: 教育学研究科 造形芸術学講座事務室
TEL:082-424-7140

広大アート×ウォーク
~広大生によるアート・ガイドツアー~

教育学研究科の授業の一環として、「広大アート×ウォーク~広大生によるアートガイドツアー~」を開催します。学内外の方を対象に、東広島キャンパスの美術作品を、美術を学ぶ学生が実際に巡って紹介します。詳しくはHPをご覧ください。

日 時:2月5日(土)
午前の部10:45~12:45 午後の部14:00~16:00

定 員:各15人、同じ内容を2回実施

募 集:メールまたは往復はがきで1月21日(金)必着
(申し込み多数の場合は抽選)

問い合わせ先: 教育学研究科 造形芸術教育学講座 彫刻研究室

E-mail: thitoku@hiroshima-u.ac.jp

HP: http://home.hiroshima-u.ac.jp/thitoku/

参加無料
要申し込み

『HU-style』アンケートにご協力ください

『HU-style』をよりよいものにするため、本誌に対する、ご意見・ご感想を募集しています。ご意見はウェブまたはメールでお寄せください。

ウェブ もみじ ⇨ HU-style ブログ ⇨ アンケート

メール koho@office.hiroshima-u.ac.jp

2011年1月~2011年4月までのスケジュール

1月	~1.6 冬季休業 1.7~ 授業開始 1.7~ 副専攻プログラム、特定プログラム登録受付開始 1.7~1.31 学生生活実態調査アンケート回答期間 1月中旬 日本学生支援機構奨学金 適格認定奨学金継続願提出締め切り 1.15-16 大学入試センター試験 1.18 学位記(博士)授与式 1.21~2.17 学生による授業評価アンケート、教育プログラム評価アンケート回答期間 1.22 池の上学生宿舍防災訓練 1月下旬 日本学生支援機構 大学院第一種奨学金返還免除候補者申請書類提出締め切り 1.28~2.10 学期末試験 1月末~ 前期分「授業料免除申請のしおり」配布 教育室経済支援グループおよび各学部・研究科の学生支援グループで配布します。
2月	2.1~2.18 前期分授業料免除申請受付* 左記期間のほか、3月1日以降に、学部・研究科等を指定して申請受付を行います。 詳しくは「授業料免除申請のしおり」で確認してください。 2.4 副専攻プログラム、特定プログラム登録受付 締め切り 2.11~4.10 学年末休業(~3.31)、春季休業(4.1~4.10) 2.25~26 一般入試(前期日程) 3.2~3.15 第2回STARTプログラム・ベトナム派遣 3.12-13 一般入試(後期日程) 3月中旬 日本学生支援機構奨学金案内の配布 教育室経済支援グループおよび各学部・研究科の学生支援グループで配布します。 3月下旬 副専攻プログラム、特定プログラム登録審査 結果通知* 3.23 学位記授与式 3.24-25 給付奨学金(地方育英会・財団等)の 事前申請受付
3月	4.1~ 健康診断* 4.3 入学式 4.4~4.22 履修手続期間* 4.6~7 交通安全講習会 4.6~4.12 日本学生支援機構奨学金出願受付* (学部2年生以上) 4月上旬~ 下旬 G.ecbo(海外インターンシップ)派遣学生募集 (大学院生) 4.11 前期授業開始 4月中旬~ オリエンテーションキャンプ* 4.14~4.21 日本学生支援機構奨学金出願受付* (大学院在学採用) 4.30 前期授業料振り込み締め切り
4月	

注意 ※印のあるものは、学部・研究科などによって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板などで確認してください。